

● 商工費

三河大島海水浴場復旧事業

問 事業の内容について伺う。

答 平成30年に相次いで台風が蒲郡付近を通過したことにより、東浜の砂の流出、海水浴場警備本部の建物が損壊した。また、東浜浮棧橋付近に砂が堆積し、干潮時間帯に棧橋が使用不可となった。そのため、砂浜等復旧工事として、当該箇所をの砂のしゅんせつ作業を行い、しゅんせつした砂は、海水浴場の砂浜整備に活用した。また、東浜警備本部復旧工事として、警備本部を鉄骨プレハブ造平屋建てで、別の場所に新たに設置し、復旧した。

● 土木費

水竹公園整備事業

問 3月に公園が開園してからの利用状況は。

答 利用者数は正確に計測していないが、多目的広場や健康ロード等を備えており、コロナ禍ではあるが多くの人が来園している。
問 開園当初は大変な賑わ



水竹公園

いで駐車場が足りず、路上駐車が近隣住民に迷惑をかけたのではないかと。路上に駐車が11台確保しているが、開園当初は満車の状態が続き路上駐車があつた。対策として注意喚起を行うとともに、仮設駐車場を設け対応した。

問 水景施設の水は安全か。

答 水景施設の水は安全か。ミストと水鉄砲の2種類があり、いずれも水道水を使用している。衛生的にも問題がなく、安全に利用できる。

● 消防費

ブロック塀等撤去事業費補助金

問 平成30年にあつた大阪府北部地震にて、小学生の児童がブロック塀の下敷きとなり亡くなった。このことを受け、当市においても古いブロック塀の改修を啓発してきたが、補助金実績の推移を伺う。

答 大阪府北部地震の前年度の状況から述べると、平成29年度は8件で66万3千円、平成30年度は93件で619万8千円、令和元年度は51件で355万5千円であつた。

大阪府北部地震の痛ましい事故を受け、補助金の制度内容を周知するチラシの全戸配布を行い、その後も広報がまごおりや、防災教室等で周知を図ってきた。

● 教育費

市民会館管理運営事業

問 ホール棟耐震・長寿命化調査等委託料について伺う。

答 建物・設備等の老朽・劣化度調査、特定天井・音



市民会館

響等の調査を行った。ホールやロビー、楽屋、外壁等の区分をし、調査結果を踏まえて区分ごとに改修項目を定め、個々の問題に對してどのような対応が可能なのか検討し、改修計画の案を作成した。

● 水道事業会計

収益的収支の状況は、1億4619万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は1億4734万円です。

● 下水道事業会計

収益的収支の状況は、2億94万円の純損失を計上しました。

● 病院事業会計

収益的収支の状況は、5億199万円の純利益を計上し、当年度未処分欠損金は141億9961万円に減少しています。

● モーターボート競走事業会計

年間の売上額は1013億7311万円で、前年度比10・2%の増、本場入場人員は15・4%の減となっています。

● 最近3カ年のモーターボート競走事業会計からの繰出金

会計名	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般会計	一般	20億円	0	0
	特別			
特別会計	土地区画整理事業	8億円	2億円	0
	下水道事業	-	7億円	7億円
企業会計	下水道事業	6億円	-	-
	病院事業	18億円	15億円	15億円
合計		52億円	24億円	22億円

※下水道事業は令和元年度から企業会計に移行しています。